

# おとな字 トレーニング

講師

小高桃果さん



雨に濡れた石畳

以前、京都を旅した時のことです。楽しみにしていた桂離宮の散策が、あいにくの雨。傘をさしながら、ぬかるんだ道をゆつくりと進んで行き、ふと足元に目を向けると、敷石が赤、緑と、まるで錦のじゅうたんのように光り輝いていました。

「草木、そして石に至るまですべてのものに命を与えているのは、私なの」と、やさしく降る雨が私にそっと教えてくれたように思いました。うっとりとした季節も、気持ちひとつで麗しく感じることができると思います。

小高 桃果 (おだか・とうか)

硬筆書道の先駆者である三上秋果の元で長年にわたり研さん。2006年、日本ペン習字研究会理事。2013年「4週間で美しく書ける！ボールペンおとな字練習帳」(日本文芸社)を上梓。著作多数。よみうりカルチャー大森講師。

〈テーマ〉

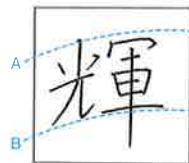
雨に輝きを増し

漢字はヘンとツクリの位置・大きさに注意して、中心を通しましょう。

なぞって書いてみましょう。

雨に輝きを増し

## ① ワンポイントアドバイス



書き文字は活字と違い、四角い箱に収まるように書いては窮屈な感じになります。上部は A 線で揃え気味に、下部は B ラインをめやすに書き、「軍」の縦線は伸び伸びと長めに書くとメリハリのある字になるでしょう。